



議会だより

せとうち

2017
2.1
第49号



今年は酉年 飛躍の年に

絶滅危惧種の珍鳥「ハイイロチュウヒのオス」

撮影地：錦海塩田跡地

撮影者：小橋勝利(長船町八日市在住)

議案審議.....2~5

視察報告.....6

一般質問.....6~15

地域のかがやき.....16

次回定例会の予定.....16

美和診療所と美和老人憩の家 廃止

美和診療所については、昭和55年から診療を開始し、現在は歯科診療のみをおこなっていた。患者数が減少し、また、歯科医師の派遣が困難な状況となってきたことに加え、設備も老朽化してきている。隣接する美和老人憩の家についても、利用者の減少と、設備も同様に老朽化している。

市は、今後の介護保険事業計画の中で、長船地域に「看護小規模多機能型居宅介護施設」の整備を掲げていることから、美和診療所と美和老人憩の家の土地を活用して、この事業をすすめる方針を示した。



美和診療所と美和老人憩の家

それに伴い、今年度末で両施設を廃止する条例改正案が提出され、可決した。

約7億3千万円

邑久中の校舎改造に

邑久中学校の大規模改造工事にもなう予算約7億3千万円が計上され、可決した。

問 主な工事内容は、

答 北棟の、屋上の防水改修や外壁、各部屋の内装、建具、電気設備等の改修など。

また、南棟を含むエアコンの設置やLED照明等への切り替え、給排水、換気設備、消防設備等の機械設備の改修、トイレの洋式化等である。

現在工事中である南棟については、教室等のカーテン設置、開放廊下天井部の防鳥ネット、窓サッシ補修等の追加工事が提案され、可決した。



邑久中学校仮設校舎

保育園に防犯カメラ

80万円

市内保育園8園の入口付近に、不審者の侵入防止と抑止を目的とした録画機能のある防犯カメラの設置を行う整備費が計上され、可決した。

問 記録した情報の用途と保管方法は、

答 必要な場合は、記録した情報を警察に提供する。またその保管は鍵のかかる場所で行うよう指導したい。



邑久保育園入口

尻海バス停等整備に

約400万円

来年度から公共交通が整備されることにもない、尻海バス停等の整備費が計上され、可決した。

問 詳細は、

答 尻海バス停については、自転車置き場と待合所が傷んでいるので整備する。

牛窓線のバス終点の広場については、安全確保のため、区画線を引く。



尻海バス停

旧楽々園跡地無償譲渡



旧楽々園跡地

今後の利活用が定まっていなかった旧楽々園跡地について、隣接する餘慶寺より申し出があり、無償譲渡する議案が提出され、可決した。

問 なぜ無償なのか。

答 土地の評価額よりも、解体工事費が多額になるとの試算もあり、また、維持管理費もかかっているため、無償譲渡とした。

問 防犯対策は、

答 今後の交渉のなかで、先方をお願いしていく。

福山浄水場 事業者決定!

議論を重ねてきた福山浄水場の更新整備を行う事業者が決定した。

問 公募で2グループあったが選定した基準は、

答 今後ますます激化すると予見されている異常気象と、それに伴い引き起こされる高濁度原水に対応した確実な処理ができるという点を重視した。

問 合併特例債の期限に合うのか。

答 合併特例債が財源に充当できるよう、交渉で努力していく。



膜ろ過方式による浄水設備の例

請願審査

●地域の実情に応じた医療提供体制の確保を求める請願
国へ意見書提出

賛成多数で採択

国は、都道府県が策定する「地域医療構想」が、地域の実情に応じた現実的な内容となるよう推定方式の見直しを行う請願が提出され、採択した。

提案理由

政府から2025年の必要病床数の推計が発表された。今後、国が病床数の大幅な削減を求めてくると懸念され、その削減によって、医療ニーズへの対応が十分ではなくなる懸念がある。

反対理由は、
①医療費を削減し、保険者の理解が得られる必要がある。
②県の計画は地域の実情を調査分析できている。
③超高齢社会を支えるには医療政策の転換が必要である。
以上から反対する。

賛成

岡山県保健医療計画の地域医療構想では、既存の病床より16%以上の削減をされるものとなっている。
県南東部の医療圏を考慮すると、本市民病院にある110床の病床も削減される懸念がある。

地域に応じた医療提供体制の確保のために賛成する。

陳情審査

●有害鳥獣に対する集落柵の単市上乗せ補助を求める陳情

全会一致で採択

●有害鳥獣対策の推進を求める陳情

全会一致で採択

人事案件

●監査委員に

小野和倫氏 を選任すること
に同意

(任期は、平成28年12月25日
～平成32年12月24日)

●教育委員会委員に

井手康人氏 を任命すること
に同意

(任期は、平成28年12月25日
～平成32年12月24日)

●固定資産評価審査委員会

委員に

港 定明氏
岩藤 誠氏
森 京一氏

を選任することに同意

(任期は、平成28年12月12日
～平成31年12月11日)

●選挙管理委員に

太田英晴氏
竹内 満氏
大熊 一郎氏
岡 利信氏

選挙管理委員補充員に

小林康志氏
熊谷和女氏
土井和子氏
福岡和明氏

が議長の指名推選により選
挙され当選

(任期は、平成28年12月25日
～平成32年12月24日)

平成27年度の決算を認定

高付加価値商品開発・販路開拓支援事業に議論白熱

高付加価値商品開発

発・販路開拓支援事業とは、地方創生事業(国の全額補助1千600万円)の一環で、地域外に特産品を販売し、地場産業従事者の所得向上、さらには瀬戸内市発ブランドの確立を行い、地域産業の活性化を目指し実施した。

見が出された。

「事業の収支決算書等には、領収書等の写しが添付されていないものや、対象期間以外の計上が見受けられた。」

この事業は地方創生先行型の補助事業であることから、市は適切ではないと認められる全額を速やかに認定し、適切な処理をする必要がある。」
この監査委員の指摘を受け、決算常任委員会では、不明瞭なまま審査を終了するのではなく、返還額または、それに関する処理についてはっきりしてから認定するかどうかを判断すべきとして、継続審査を求める動議が提出されたが、賛成少数で否決された。

その後、決算は賛成多数で認定された。

〈討論〉

反対

不適切な支出が明らかになり、不明瞭な支出があるまま認定する訳にはいかない。国からの回答待ちとのことだが、一連の処分についてはっきりさせた上で判断されるべきである。

あわせて、地方創生事業について、大半がコンサルティング会社への委託料で、本市にとって不可欠の事業であったかも疑問である。今後は、費用対効果について検証したうえで、事業採択・事業遂行すべきと考える。

賛成

市の対応は不適切そのもので、適切を通り超えてずさんと言わざるを得ない。しかし、決算そのものは財政に影響するものではない。また、今後については一定の結論を得た後に、委員会の中で報告することなので、認定すべきと考える。

また、補助事業のあり方については、別の場所で議論されるべきと考える。

附帯決議の内容

- ① 該当事業に対し、新たな事実の発覚や連絡があったときは、速やかに報告すること。
- ② 議会から報告を求めたときは、速やかに行うこと。
- ③ 各事業の執行に当たっては、体制を整備し、組織的に取り組むこと。



視察先 兵庫県播磨町・京都府精華町

播磨町では、議会だよりの表紙の題字は各小学校の児童にお願いし、裏表紙に書き手の紹介と、町に対する思いを載せている。

印刷業者とはページ数で契約している。ページ数が少ないほうが安いと思っていたが、16ページが用紙を一番効率的に使用でき、結果的に安価になるとのことであった。

精華町では、表紙の写真は町内の写真クラブにお願いしており、裏表紙に撮影者の紹介と、作品の狙いを掲載している。

疑問の提示、提案などを継続して追いかける「その後を追う」、決算審議を予算に反映すべく「その後を追え」という特集も、広報委員の労力を傾けた企画と感じた。

市民に関心をもち、行政に対する議会の存在感の示し方など今後の参考とした。



平成28年第5回（11月）定例会 賛否の公表

Table with columns for 議案名, 議決年月日, 採決結果, 公明党, 日本共産党, せとうちクラブ, 瀬戸内市民の会, 改革, 鼎の会, 無党派, 賛成, 反対. It lists 4 items with their respective voting results.

○=賛成 ●=反対 —=議長職（議長は採決に加わりません）

原稿については、各質問者が投稿したものであり文責は質問者にあります



森 俊之

不法投棄防止のためにも道路整備を

定期的な草刈り等をしていきたい

ヨットハーバーから旧水産試験場までの道路は、山側から土砂が降り、草が茂り幅員が狭くなっている。不法投棄も見られるので草刈り等の対応を。

成30年度からさらに2%下げることが決定した。場になれば」との言葉をいただいた。

市長

私が事務組協議員として参加しており、議員のかねての提言に基づき発言し、2年連続の引き下げが実現した。短期的な利用情報があれば、橋渡し役などできることに取り組んでいきたい。

産業建設部長

今まで定期的に行っていたが、効果の高い時期に定期的に実施していきたい。

岡山県総合事務組合でこの一年議論し決定されたのは何か。

SECC工場地跡地利用の方向性は

市長

今年7月に所有者と会い、「雇用を生む

総務部長

退職手当給付費負担金について昨年度から来年度にかけ2%下げることが決まっていた。今年度の組合議会で平



ヨットハーバーから旧水産試験場への道路

森 俊之（7ページ）

- 1. 岡山県市町村総合事務組合について
2. クリーンライフ100構想の見直しについて
3. 牛窓ヨットハーバーから旧水産試験場までの道路について
4. SEC跡地について

廣田 均（7ページ）

- 1. 第2次瀬戸内市総合計画（後期基本計画）について
2. 瀬戸内海環境保全特別措置法による措置について
3. 鹿忍地区の低地帯対策について
4. 財政運営適正化計画について

小谷和志（8ページ）

- 1. 鳥獣被害対策について
2. 安全・安心のまちづくりについて
3. 美和診療所、美和老人憩の家の今後について

原野健一（8ページ）

- 1. 有害鳥獣対策について
2. メガソーラー事業を生かしたまちづくりについて

石原芳高（9ページ）

- 1. 予算編成について
2. 時間外勤務について
3. 小野田光（9ページ）
1. 市長の政治姿勢について

馬場政教（10ページ）

- 1. 農業施策について
2. まちづくりについて
3. 地域一括交付金制度について

室嶋陸海（10ページ）

- 1. 弱者のための政治について
2. 地方創生関連の補助金、交付金について

布野浩子（11ページ）

- 1. 乳がん検診について
2. 瀬戸内市のまちづくり、人づくりに関して

高間直美（11ページ）

- 1. 女性特有の病気に対する支援について

2. 貧困対策について
3. 放課後児童クラブ（学童保育）について

河本裕志（12ページ）

- 1. 防災について
2. 福祉施策について

日下俊子（12ページ）

- 1. 有害鳥獣対策について
2. 公民館、図書館行政の今後について

角口準一（13ページ）

- 1. 人と自然が輝くまちづくりに向けた人事と人材育成のあり方について
2. 「住み続けるなら瀬戸内市」の実現に向けた鳥獣被害の低減対策について

島津幸枝（13ページ）

- 1. 国民健康保険について
2. 相談支援体制と福祉支援の強化について
3. 高付加価値商品開発・販路開拓支援事業について

川野泰一（14ページ）

- 1. 学校現場の危機管理について
2. 学校の施設整備について
3. スポーツ施設の整備について

竹原 幹（14ページ）

- 1. 公共施設再編計画について
2. 地域自治組織・地域一括交付金制度について
3. 公共交通について
4. JRR駅前等整備計画について

日下敏久（15ページ）

- 1. 格差のない市政について
2. 公共施設の統合等について
3. 新火葬場整備について
4. 市内道路整備の計画と状況について
5. スポーツ公園等の整備・充実に

厚東晃央（15ページ）

- 1. 少子化対策について
2. 学校教育について
3. 住宅リフォーム助成制度について

廣田 均

鹿忍地区の低地帯対策の現状と対策は

地域の要望があり、粘り強く対応する



鹿忍地区の低地帯について、小向川の改修、雨水対策、塩田跡地の浸水対策の進捗状況は。

う声は、地域からあがっており、土地所有者と解決方法を探っていく。

産業建設部長

獲る漁業から育てる漁業への転換として、種苗放流事業を進めていく。

海岸の漂流ごみ、海底ごみの除去対策は。

瀬戸内海環境保全特別措置法に基づいて必要な措置を講じる。漂流、漂着ごみは、漁業者、海面アダプト事業者などのボランティアが美化活動を実施し、漁協に海底ゴミステーションを設置、回収している。

上下水道部長

放流先の変更及び鹿忍全体での事業実施について、現在浸水状況等の取りまとめを行っており、その結果をもとに調査等を行ってきたい。

環境部長

悪臭や、蚊の発生、ヌートリアの異常繁殖により良好な居住環境が損なわれているとい

環境部長

悪臭や、蚊の発生、ヌートリアの異常繁殖により良好な居住環境が損なわれているとい



浸水している鹿忍塩田跡地



小谷 和志

問 美和診療所・老人憩いの家の今後は
答 看護小規模多機能型居宅介護施設を検討

問 閉院となる美和診療所、美和老人憩いの家の今後について、どのように考えているのか。

市長

美和地区の高齢化率の高さも考えると、看護型の小規模多機能事業所のようなものができるとうれしい。地元の声もあり、検討している。

問 現在美和診療所に通院している方の対応はどうするのか。

市長

美和地区は、交通不便地域と位置付けている。今後、バスやデマンド交通等の新たな地域内交通を導入し、邑

久駅・長船駅へ接続する案について、具体的な調整を図っていきたい。

来年度できるだけ早い時期に、新たな地域内交通を美和地区にも導入していきたい。

問 美和老人憩いの家の利用者への対応はどうするのか。

市長

介護予防としての機能は、今後も美和地区で存続させたいと考えており、美和分館の活用を検討していく。



美和診療所、美和老人憩いの家

問 鳥獣被害について、今後の取り組みは、
答 産業建設部長

侵入防止対策として、集落柵設置に対する上乗せ補助を検討する。捕獲については、猟期中の上乗せ補助の活用を図る。



原野 健一

問 有害鳥獣駆除を強化する策と補助金は
答 猟期中の上乗せ補助金なども考える

問 市内のイノシシによる被害区域は、近年急激に増えている。現在の瀬戸内市に与えられた一番の課題と考える。

防護と同時に、徹底した駆除が必要だと思いが、そのための十分な予算確保についてどう考えているのか。

産業建設部長

現在、駆除奨励金は、猟期に入ると出していない。来年度からは、駆除をもっと推進するために、狩猟期間中においても、県の奨励金に上乗せし助成することを考えている。

また、駆除を強化するには、駆除員を増やすことが必要であるこ

とから、猟期中に限り、駆除班員だけでなく、市内在住の猟友会メンバー全員を対象として、その狩猟捕獲者にも奨励金を出すことも考え、駆除をより強化していく。

産業建設部長

問 有害鳥獣駆除に対する、今後の新たな対策とスケジュールは。
答 有害鳥獣駆除に対する、今後の新たな対策とスケジュールは。



期待される有害鳥獣駆除活動の強化

問 予算編成について
答 限られた財源を有効に活用する

石原 芳高



問 各部署より予算要求が出される時期である。27年度より、段階的に地方交付税が減額されていく中で、29年度は、どのような予算編成を考えているのか。

市長

中期財政計画で示されている「痛み」の伴う

改革」とは何か。具体的に示す必要があるのではないか。

総合政策部長

予算編成については、現在のところ集計中である。今後ヒアリングを行い、限られた財源を有効に活用できる予算編成となるよう努力する。各種団体への補助金10%の削減の継続、内部管理経費や時間外勤務手当等の削減を考えている。

どのように考えているのか。

副市長

ワークライフバランスが重要視されていることは、十分に認識している。管理職も含めて、時間外勤務の実態を把握し、事務改善が必要な部分は、改善を図っていくことが必要だと考えている。

市長

職場全体の時間外勤務を、幾らかでも減らすことを考えていく。また、職員と一緒に、改善を図る方法を考えていくことも必要であると感じている。

問 市長の政治姿勢について
答 今後は慎重に検討し進めていく

小野田 光



問 市長の政治姿勢について問う。

この2期8年、厳しい財政状況にも関わらず、途中止めや尻すぼみとなった案件が多々あった。

例えば、新病院の独立行政法人化の検討に約4000万円。モーバスに約4400万円、市道南北線の延伸計画に約4000万円投じた。

これはほんの一例であるが、すべてできていない。

今後は、市民との会話、議会との対話をしっかりと図り、合意形成の上で物事を進めていくことが肝要だと考えるがいかがか。

市長 そうしたところを十分に反省し、今後は説明責任を果たし、市政運営に生かしていく。

市長

問 今後の市政運営において、現状を保持するには市民に痛みを伴う改革が必要であることを示しつつ、施策としてやるべきこと、や

れること、やってはならないことを市民、議会と合意の上で進めていただきたいと思うがどうか。

市長

議会の皆さんと共に歩んでいくことを大前提と考え、慎重に検討した上で前進をしていきたい。

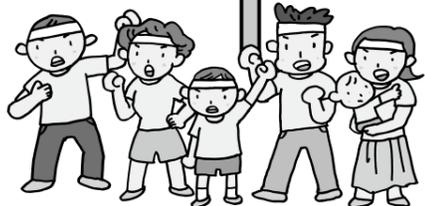


中期財政計画

問 部署や職員間で、時間外勤務時間に大きな隔りがあるが、

改善を図る方法を考えていく。

市民の生活を
しっかり守れ!





馬場 政教

問 耕作放棄地対策としての農業施策について

答 宝の山として価値を見出していく

問 鳥獣被害と担い手の高齢化により、耕作放棄地が広がっている現状に、どのように対応するのか。

市長

耕作放棄地は負の遺産ではなく、宝の山として利用価値を見出していく。対症療法的な対応では、耕作放棄地が広がるスピードに対応できない。活用を検討する人材や企業体に対し、市に定着できるようにする。

市長

これまでの役割を見直しながら、あるべき姿、果たすべき役割を考えていく。

市長

経済の循環をどのように生み出すか。また子どもたちの明るい将来のために、どのように人に投資をしていくのかを、今後考えていく。



室崎 陸海

問 弱者のための政治について

答 相談対応の充実を図りたい

各所との連携などにより、一層努力する。

問 5年後、10年後を見据えて、高齢者のための交通手段をどう考えるのか。また、通学バスに、高齢者が相乗りできれば、児童・生徒、高齢者の双方に有益ではないか。

総合政策部長

市地域公共交通通網形成計画のメインターゲットに高齢者を位置づけて、公共交通施策を推進していく。

問 地方創生関連の補助金・交付金は、バラマキではなく、効果が上がるようにすべき。

総合政策部長

成果報告会を開くなどしているが、よりよくなるよう検討していく。

問 振興公社の施設整備の充実を図り、人材育成や農地利用集約円滑化事業の実施を支援し、農地保全の試みを考えるべきではないか。



(本庄地区コミュニティ協議会所蔵)

広がる荒廃地
上写真：約50年前
右写真：約10年前



国土地理院撮影の空中写真(2007年撮影)

〈左より〉
邑久町円張地内
舟原地内
下山田地内
旧明德小学校付近

保健福祉部長

問 高齢者の孤独死の状況を含め、見守り体制は充分なのか。

現在、市の一人暮らしの高齢者は2670人で、年々増加している。

市の高齢者見守り体制整備事業や地元の方

総合政策部長

市地域公共交通

通網形成計画のメインターゲットに高齢者を位置づけて、公共交通施策を推進していく。



障がい者等の地域生活を支援するスマイル



布野 浩子

問 早急に乳がん検診ができる体制を

答 来年度のマンモグラフィ導入を目指す

問 前回の一般質問の反響が大きく、乳がん検診は市民の関心事の一つであることを再認識した。今まで検診を受けていた20代30代の女性が乳がん検診を受けやすくなるための補助金制度はつくれるのか。また市民病院には超音波診断装置(エコー)がある。そのエコーを検診に活用できないか。

保健福祉部長

先進的にエコーの検診を導入している市町村もある。研究していく。

病院事業管理者

エコーを見るにはその技術を持つ医師が必要だが、人材確保が難しい。まずはマンモグラフィを導入したい。

市民部長

乳がん検診は40歳からになる。40歳未満の方は実費になる。



マンモグラフィ設置予定の検査室

市長

組織編成は当面、現状のままでやってみる。市長、副市長も市民との対話の会に積極的に出向き、今後の推移をみる。



高間 直美

問 学童保育の運営方法を見直すべきでは

答 指定管理等含め年度内に方向性を出す

市長

少なくとも、年度内に、方向性をだす。

市長

不公平性がないような制度をつくっていくことが大切。病気を患った女性が、少しでも前向きになれるように、総合的にバランスを取りながら考えていく。

保健福祉部参与

多くのクラブから、「事業主が保護者だと責任が重い」「多額の事業費を管理するのは大変」「支援員の確保やクラブ員の確保に苦慮している」等の声がある。今後は指定管理者制度の導入も含め意向を聞く。

問 いつごろまでに意見をまとめるのか。



未来の子ども達のために制度改正が必要な学童保育



河本 裕志

問 居住に困っている障がい者への支援は

答 今後障がい者計画の中で考える

援体制を組むことになっていて、バリアフリー施設のゆめトピア長船も考慮に入れて、具体的に考える。

では迅速に対応する必要がある。

問 南海トラフ大地震が発生した場合、避難所に学校施設がある。高齢者・障がい者が避難され困るのがトイレだが、洋式トイレにする考えは。

教育長

学校のトイレ洋式化は約35%。学校施設の長寿命化計画工事と一緒に対応する必要があると考える。

危機管理部長

障がいや体調にあわせて、本人や家族、専門的な職員と相談しながら個々に対応を考える。

市長

問 福祉避難所として、高齢者施設が指定されているが、障がい者の2次避難場所が決まっていないが、どうするのか。

保健福祉部長

災害時には保健福祉班として障がい者の支

東日本大震災、熊本、鳥取地震、さまざまな場所で災害が起きていたので、避難訓練、日頃の準備、システムの再構築など、もう一度再点検する必要がある。安心して避難できる場所の確保も踏まえ、公共施設の再編、財政的に可能なものについ

福祉避難所一覧

事業所名	所在地	業務形態
あじさいのおか牛窓	牛窓町長浜1745-1	特別養護老人ホーム
うらら東	牛窓町牛窓2297-1	小規模多機能型居宅介護
邑久ナーシングホーム	邑久町箕輪266-1	介護老人保健施設
せとうち	邑久町福中1180	特別養護老人ホーム
錦海荘	邑久町尻海5513-1	特別養護老人ホーム
縁路香	邑久町福谷214-1	小規模多機能型居宅介護
長船荘	長船町服部1141	特別養護老人ホーム



日下 俊子

問 有害鳥獣侵入防止集落柵に上乗せ補助を

答 前向きに検討していく

問 有害鳥獣の被害は、単に農作物の被害だけでなく、人に危害を加える非常に危険な状況になっている。

その中で、侵入防止の集落柵が有効な手段とされ、近隣の市町村では、国県の補助に市の上乗せ補助が行われている。

上乗せ補助がないのは、本市だけである。ぜひ、本市でも上乗せ補助を検討できないか。

市長

地元の皆さまの期待に応えていけるよう、これから予算査定を行う中で、前向きに検討していきたい。

問 長船町公民館の耐震は6千万円必要

この話から、耐震は事実上不可能と変わった理由は。

教育次長

耐震工事をできないことはないが、長く使うことはできない。

問 長船町公民館をゆめトピア長

船に移転する案があると聞く。どちらも活発に使われている2つの施設が一緒になることは、不可能と考える。また、長船町公民館には卓球台・ビリヤード・陶芸用の窯、などにより菊花展があり、移転不可能と考える。



第30回備前長船菊花展

増築が必要なら、今の場所での建替えの選択肢は。また、あの場所に地帯の避難所が必要と考えるがどうか。

市長

統合的にいろいろな角度から検証していく。



角口 隼一

問 鳥獣対策に地域性を考慮すべきでは

答 来年度の制度設計に盛り込んでいく

問 鳥獣被害が著しい中、これまで個別柵への対応をしてきた市の補助制度であるが、個別柵は主に農水産物被害の軽減のために行われているものである。

しかし、農作物だけではなく鳥獣によって人の安全が脅かされる事態となっている。

これまでの個別柵の対応だけではなく、集落柵の設置、または市内をすべて取り囲んで市民の安全を守るべきではないか。

市長

集落柵に関しては、市費の上乗せ等の支援について、近隣市の状況を踏まえて検討していきたいと考えてい



来年度から上乗せ補助を行う集落柵(和気町イメージ)

また、市内全域を囲うことについては、柵の種類や材質により異なるが、おそらく数億円規模の事業となることと想定されることから、まずは集落単位で検討するべきであると考えている。

問 集落によっては、三方を山に囲まれ

ていて世帯数の少ない地域もある。集落柵を設置するにも、一世帯の負担上限などを制度設計の際に考慮するべきであると考えているがいかがか。

市長

世帯数、受益者数など十分に検討したうえで来年度に向けて制度を構築していく。



島津 幸枝

問 財政安定化支援事業の運用は

答 過去の決算済み分は留保してない

問 低所得者や高齢者の割合が高い自治体に国から国保のために交付される財政安定化支援事業について、瀬戸内市はこれまで2億3千718万円をほかの事業に使ってきた。市長は、「ほかの事業で使ってきたわけではない。国保で使うつもりだ。」と答弁してきたが、どのように運用されるのか。

市長

過去の決算済み分について一般会計内へ留保しているという認識はない。

問 相談支援体制が充実してきたものの、それぞれの役割が市民にわかりづらい。見直す必要があるのでは。

27年度の決算審査で「高付加価値商品開発・販路開拓支援事業」について領収書がなかったものなど不適切な支出があったことが判明した。今後の処分について問う。

市長

補助事業者に対して補助金返還命令書等により返還をしてもらい、国に返金をする。



特定健診を受ける被保険者



川野 泰一

問 学校のトイレの改修は急ぐべきでは

答 効果的な整備を進めていく

問 学校のトイレは、洋式化を含め、改修を急ぐべきではないか。

教育次長

公立小学校施設のトイレの状況調査結果では、全国の洋式化率43.3%に対して、本市は34.9%にとどまっている。快適で健康的な環境整備の観点から、早急に取り組

むべき課題と捉えている。国の補助事業など有利な財源の確保に努め、より効果的な整備を進めていきたい。

問 邑久スポーツ公園北側の土地を購入し、総合スポーツ公園として整備できないか。

教育次長

北側の土地は、農業

振興地域整備計画の農用地区内の農地で、国営事業の受益地となっており、農地転用は不可能である。また、市の財政状況からも建設は難しい状況である。

問 学校現場の不審者対応は。

教育次長

全ての幼稚園、小・中学校において防犯訓練を含む防犯教室を実施している。さらに、小・中学校では、防犯カメラを設置し、幼稚園では、防犯センサーやインターホンを設置している。来校者には、名札の着用を求めている学校・園もある。



学校トイレの洋式化を(邑久小学校)



竹原 幹

問 駅前等整備はどのように進めるのか

答 来年度から本格的に進めていきたい

問 JR駅前等整備事業が、中期財政計画に盛り込まれたが、概略は。

産業建設部参与

各駅の駅舎、トイレ、駅前広場、駐輪場、アクセス市道等の整備内容ごとに、概略の事業費や工程等を考慮し、重要性、緊急性、工期、事業費で評価し、短期と中・長期に分けて検討している。短期は合併特例債の適用を受け、平成31年度までに整備するもので、トイレ、駅前広場、駐輪場、アクセス市道、大富駅のバリアフリーである。現在、実現に向けて課題を解決し、効果的かつ広く市民から理解が得られるよう計画づく

りを進めている。来年度から本格的に事業を進めていきたい。

問 庁舎の再編は、どのように進めるのか。

総務部長

公共施設再編計画では、長船支所はゆめトピアに移転、ゆめトピアの保健福祉部は本庁に移転、長船町公民館はゆめトピアに移転、消防署長船分駐所は、ゆめトピア周辺敷地に移転することとしている。

この再編計画をもとに具体的な計画を策定する必要がある。効率性や経済性だけでなく、大規模災害にも対応できる庁舎のあり方も含め、早期に庁舎再編の基本構想、基本計画を策定したい。



長船駅



目下 敏久

問 格差のないまちづくりへの考えは

答 「人づくりがまちづくり」の考えで

問 生活、教育、文化における考えは。

副市長

調和とバランスを基本に市民で共有、共感できる市政に努めたい。

基本計画を策定したい。

問 新火葬場整備の計画策定と進捗状況は。

環境部長

岡山市との協議を進めながら、今年度中に基本計画の策定をした。また、設計業務の進捗を踏まえて用地取得を進めたい。

問 スポーツ公園や子どもたちが安心して遊べる広場整備の考えは。

教育次長

スポーツ推進審議会等と検討し整備を行う。施設の整備と子ども遊びの支援の両方を考えたい。



厚東 晃央

問 少子化対策として子育て支援の充実を

答 効果の高いものを考えていきたい

問 市の出生率は県内2番目に低い状態である。少子化対策として子育て支援の強化として、各家庭へ直接支援することこそ必要である。

市長

幼稚園・小中学校で毎月集金している中で「給食費が高く、負担になっている」という声をよく聞く。全国の自治体で取り組みも広がっている。学校給食費の無料化にとりくんでは。

問 インフルエンザ予防接種の補助を県内10自治体で実施している。予防接種を家族全員で受けようとする

と負担となる。

市長

少子化対策のひとつの選択肢だと思う。できることならやれたらいいなと思う。「補助金があればいいな」と市民から要望を聞く。インフルエン

いものを考えていきたい。

ザ、ロタウイルスやおたふく風邪などの予防接種費用に対する補助に取り組んでは。

市長

人づくりがまちづくりという考え方を大切に、市政に努めたい。

問 公共施設の統合について、今後の考えは。

総務部長

公共施設の再編計画をもとに、基本構想、

問 市内道路整備の計画と状況は。

産業建設部長

県道佐井田バイパスについては引き続き県と協議しながら、また、市道南北線の延長については、財政状況等を見きわめながら適切に判断したい。



地域みんなでまちづくり(大富町内会自主防災会)

市長

負担が減ることは保護者にとって喜ばしいことと思う。しかし、どのくらい経済的負担の軽減を行えば、少子化対策となるのか検証していない。効果の高



予防接種を受ける赤ちゃん

★地域のかがやき★

地域の写真を市民のみなさんから募集します



黄色の天使・せとうちこども合唱団ティンカーベルが「県わかば賞」を受賞



今年の農作物のできばえを占う(春日神社(長浜)のト祭)



新年カウントダウンで放たれた風船(上寺山餘慶寺)



森香洲作「落雁水指」

瀬戸内市がほこる伝統工芸品のひとつに虫明焼があります。釉薬をかけた京風の焼物で、茶道具としても人気があります。

起源についてははっきりしませんが、江戸時代中期、虫明に陣屋を置いた岡山藩家老・伊木氏の御庭窯として始められたと言われています。茶人でもあった伊木三猿齋は自身も作陶し、また清風与平や眞葛香山といった名工を招いて虫明焼の名声を高めました。

現在は、岡山県指定重要無形文化財である黒井千左氏をはじめ、数人の作家が作陶を続けています。

中央公民館には「虫明焼展示室」があって、太田巖氏(故人)が収集した虫明焼(瀬戸内市指定重要文化財)を鑑賞することができます。

知ってますか?
文化財

虫明焼
むしあけやき



次回定例会の予定

(インターネット中継のある日)

2月22日(水)	本会議	9:30~
3月 1日(水)	本会議	9:30~ 一般質問
2日(木)	本会議	9:30~ 一般質問
3日(金)	本会議	9:30~ 一般質問
6日(月)	本会議	9:30~
22日(水)	本会議	9:30~

お気軽に傍聴してください。

(都合により、日程が変更となる場合もあります。)

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

昨年世界の政治状況は、イギリスのEU離脱、フィリピンやアメリカ合衆国での今までの常識とはかけ離れた大統領の誕生など、いわゆるポピュリズムの台頭が進んだといわれました。

私たち議員は、周りの方々が喜ぶかどうかだけでなく、税金が無駄に使われていないか、将来に対して有益な投資か、市民の安全安心のために十分かどうかなどの観点から、真摯な議論を重ねていくのが使命と思っています。その議論の過程を、この紙面上でわかりやすく皆様にお伝えすべく今後も努力してまいります。

(森)

●お問い合わせは議会事務局 (0869)22-0979までお願いします。

E-メールアドレス gikaijimu@city.setouchi.lg.jp

瀬戸内市議会ホームページアドレス <http://www.city.setouchi.lg.jp>

インターネット中継はこちらから

この市議会だよりは再生紙を使用しています